

文科省学校評価ガイドラインの指標を基に、学校・保護者・地域住民との信頼関係の構築を図り、開かれた学校づくりを目指していくため、平成19年度より、あり方を見直していく方向が南アルプス市教育委員会より示されました。20年度より、7月と12月の2回の学校評価を実施し、1回目の自己評価で明らかになったことは、努力目標として全職員で共通理解をもち取り組んできました。2回目の自己評価では、成果も多く確認されました。また、反省点については、3学期に改善につなげていきたいです。

評価のねらい 1学期より3ポイント以上良くなったポイントには(◎)・おおむね変化なし(無印)
1学期より3ポイント以上悪くなったポイント(▲)

☆24年度・2学期の実践の評価を踏まえて、今年度の課題を明らかにする。

<評価方法について>

◇Aーよい Bーふつう Cー改善が必要 の3段階で評価

◇評価提出者20名(評価者の職種によっては、評価できない項目もあります)

◇「気づいたこと」の意見は次のように類別しています。(○良かった点 ●今後の課題)

| 評 価 項 目 | 評 価 | |
|--------------------------------------|-----|---|
| | A | B |
| 1. 教育目標について | | |
| ① 学校教育目標・指導重点は適切だったか。 | 19 | 1 |
| ② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。 | 15 | 1 |
| ③ 学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。 | 16 | 2 |

気がついたこと

○②について、クラスによって温度差はあったが、それぞれ具現化に向けて努力してきた。

○③について、学級通信にクラスの活動がわかる写真を載せるなど、情報を伝える努力をしている。

<考察>

2学期は行事が多く、さまざまな行事への取り組みに時間を費やした。また、公開研究会を実施し、児童の学力向上に全職員で取り組んできた。学校で行っている教についてタイムリーに保護者に発信していくこともできていた。

2. 経営・組織

| | | |
|-----------------------------|-----|---|
| ① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。 | ◎16 | 4 |
| ② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。 | 15 | 4 |
| ③ 学年打ち合わせが十分できているか。 | 13 | 3 |
| ④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。 | 18 | 1 |

気がついたこと

○公開研究会に向けて、研究主題を意識しながら、学び合いができるように授業を考えていった。

○校内研究会で、いきいきと学びあう授業づくりに取り組むことができ、授業の大切さを実感できた。

●職員会議の時間が長いので、提案の仕方に工夫が必要だと感じる。

●TTの打ち合わせが思うようにできていなくて残念だった。

<考察>

・④の項目がA評価18ポイントと高い成果をあげている。
・本校の今年度の校内研究テーマ「いきいきと学びあう授業づくり～学級集団の状態にマッチした指導の工夫～」は、学級集団の力をどのように高めようという点で、本校の課題に沿ったよいテーマであった。また、すべての職員がそれぞれの立場で研究に関わり、公開研究会で成果をあげたと考えられる。
・TT同士、担任同士の打ち合わせの時間を放課後に確保する。
・提案文書がPCに残っていると、提案文書の作成がスムーズにいくので、きちんとPで来年度につなげてほしい。

<改善策>①提案文書は、きちんとPCに残す努力をする。

②職員会議については、提案文書を全部読むことはしないで、提案者が提案の工夫をして職員会議に臨む。

3. 教育課程 (1) 全般 (特に新教育課程の完全実施に伴って)

| | | |
|---|-----|---|
| ① 教育課程に本校の特色は生かされているか。 | 17 | 3 |
| ② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。 | 14 | 3 |
| ③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。 | ◎12 | 5 |
| ④ 各教科の授業時数は確保できているか。 | 11 | 4 |

(3) 道徳

| | | |
|----------------------------|----|----|
| ⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。 | 11 | 4 |
| ⑥ 道徳的实践・道徳性などが高められていると思うか。 | 6 | 10 |

(4) 特別活動(学級活動・児童会活動)

| | | |
|--------------------------|----|---|
| ⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか。 | 6 | 9 |
| ⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。 | 10 | 8 |

| (5) 学校行事 | | |
|--|-----|----|
| ⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。 | ◎18 | 1 |
| ⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。 | 18 | 2 |
| <p>気がついたこと</p> <p>○授業内容も増し、時数の確保も大変だと思いますが、学校行事の取り組みは、子どもの力になっているので、創意工夫して、継続していったら良い。</p> <p>●各行事は、それぞれ有意義であるが、取り組み時間の確保が難しいので、行事の内容を精選する必要がある。</p> <p><考察>・学校行事を通して、子どもたちは友だちとの関わりなど、教科の学習だけでは得られない体験を通して成長している。学校行事の意義をもう一度確認して本ある教育活動として発展させていきたい。</p> <p><改善策>・学校行事の意義をもう一度確認して、できるだけ時間数を減らす努力をする。また、本校の伝統を、子どもたちに伝える努力もしていく。</p> | | |
| 4. 学級経営・生徒指導 | | |
| ① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。 | 13 | 1 |
| ② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。 | 16 | 2 |
| ③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。 | 16 | 3 |
| <p>気がついたこと</p> <p>○支援の必要な子どもたちに、管理職の先生方が積極的に関わってくれるので、ありがたい。また、SCの先生との連携もスムーズにしている。</p> <p>○学級での様子を月に1回、情報交換ができてるのは良い。そして、全校の様子を把握するのに、役立っている。</p> <p>●支援委員会で決まったことを、全体で確認する必要がある。</p> <p><考察> ・校内研で取り組んできていることが一定の成果となってQU調査でも、数値的にも表れている。職員が情報を共有し、同じスタンスで生徒指導に当たることが重要であると感じている。 ・さまざまな事情により、特別な支援を必要とする児童がどのクラスにもいる。個々への対応に当たり、支援の人数や時間が増えつつある。</p> <p><改善策> ・支援委員会で、決まったことは、可能な限り全体に知らせて、職員の共通理解をもっと深めていく。</p> | | |
| 5. 家庭・地域社会との連携 | | |
| ① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率) | ◎16 | 4 |
| ② PTA活動は目標達成のため計画的に展開されているか。 | ◎17 | 2 |
| ③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。 | ◎16 | 2 |
| ④ 学校応援団を有効に活用できたか。 | 17 | 3 |
| <p>気がついたこと</p> <p>○児童の登下校時に、地域の方々が、交通安全指導で道路に立ってくれているので、とてもありがたいと感じています。</p> <p>●今年、公開研究会があり、2学期の授業参観がなかったので、学期に1回は、授業参観を設定しても良い。</p> <p><考察>・家庭・地域社会との連携は、1学期より、①・②・③の項目でA評価が+3ポイント上昇している。 ・今年度は参観や懇談会に参加して下さる保護者の方の人数が増えてきた。様々な取り組みの成果だと思う。やはり、保護者との連携を図る上では、学校の情報を家庭的に知らせたり、保護者の意見を学年や学級懇談会で聞き取る必要がある。また、学校応援団の方々の協力が得られているので、有効に活用できている。 ・いろいろな形で、学校に協力してくれる方々に、感謝を伝える方法を考えていきたい。</p> <p><改善策> ・講演会などへできるだけ参加しやすい形を考える。また、学年・学級PTA活動の中で、保護者どうしのつながりが作れるような取り組みを考えていく。 ・いろいろな形で、学校に協力してくれる方々に、感謝を伝える方法を考えていきたい。</p> | | |
| 6. その他 | | |
| ① 子どもたちは、あいさつができていたか。 | 4 | 14 |
| ② 給食中の過ごし方やマナーに問題はないか。 | 6 | 14 |
| ③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。 | 13 | 7 |
| ④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。 | ◎17 | 3 |
| ⑤ 保健指導がしっかりできていたか | ◎17 | 3 |
| <p>気がついたこと</p> <p>○保健だよりを使って、少し話をするだけで、子どもたちの関心が高くなるので、とても助かっています。</p> <p>○読書週間を中心に、読書への取り組みは充実していた。</p> <p>○教育ボランティアの方々に、本の読み聞かせをしていただいたり、図書委員会の紙芝居や図書室での読み聞かせをしてもらっているので、本に親しむ機会が多く、子どもたちも楽しみにしている。</p> <p>●学校で、玄関におけるあいさつ運動を、あいさつと勘違いしている児童も少なからずいる。</p> <p><考察> ・今回のアンケートの中で、(子どもたちは、あいさつができていたか)という項目が、一番A評価が少なかった。児童会でも、あいさつ運動に取り組んでいるが、その時間いさつをすればよいと考えている児童もいる。地域でのあいさつも含めて、あいさつの意味を学級会でも話し合う必要がある。また、あいさつ運動の推進を地域や家庭に得る。</p> <p><改善策>・あいさつの意味を学級会や道徳の時間を利用して、徹底させる。また、集団下校時にあいさつの確認を毎回していく。</p> | | |

学校評価の
課題につい
し、来年度

| |
|--|
| |
|--|

C

| |
|---|
| 0 |
| 0 |
| 0 |

育活動に

| |
|---|
| 0 |
| 0 |
| 0 |
| 0 |

ていくか
る。
Cに残し

| |
|--|
| |
|--|

0

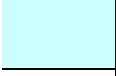
| |
|---|
| 0 |
| 0 |
| 0 |

| |
|---|
| 0 |
| 0 |

| |
|---|
| 0 |
| 0 |

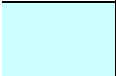
| |
|---|
| 1 |
| 0 |

校の特色



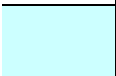
| |
|---|
| 0 |
| 0 |
| 0 |

ることを確



| |
|---|
| 0 |
| 0 |
| 0 |
| 0 |

達に積極



| |
|---|
| 2 |
| 0 |
| 0 |
| 0 |
| 0 |

司だけ、あ
こも協力を

